



# 平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月9日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ナック

コード番号 9788 URL <http://www.nacoo.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 寺岡 豊彦

問合せ先責任者 (役職名) IR・広報室 室長

(氏名) 小林 貴之

TEL 03-3346-2111

四半期報告書提出予定日 平成24年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	13,627	29.5	△68	—	△63	—	△810	—
24年3月期第1四半期	10,524	9.2	△355	—	△366	—	△578	—

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 △813百万円 (—%) 24年3月期第1四半期 △589百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	△98.53	—
24年3月期第1四半期	△74.12	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	25,738	10,478	40.7
24年3月期	25,817	11,489	44.5

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 10,478百万円 24年3月期 11,489百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	25.00	—	27.00	52.00
25年3月期	—				
25年3月期(予想)		30.00	—	30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	31,000	13.1	1,100	60.0	1,090	65.3	320	11.4	38.95
通期	73,000	13.5	4,400	26.6	4,350	25.9	2,100	23.5	255.61

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、[添付資料]3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期1Q	9,359,625 株	24年3月期	9,359,625 株
② 期末自己株式数	25年3月期1Q	1,128,591 株	24年3月期	1,144,101 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期1Q	8,225,722 株	24年3月期1Q	7,809,345 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料]3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8
(5) セグメント情報等 .....	8
(6) 重要な後発事象 .....	8
4. 補足情報 .....	9
受注の状況 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間(平成24年4月1日～平成24年6月30日)におけるわが国経済は、復興需要を背景として緩やかな回復基調にありますが、予断を許さない欧州の債務危機、長期化する円高、電力不足による景気の下振れリスク等、先行きは不透明な状況にあります。このような情勢のもと、当社グループでは、中期目標に向けた足がかりとなる営業拠点の強化をはかり、積極的な事業活動を推し進めてまいりました。その結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高13,627百万円(前年同期比29.5%増)、営業損失68百万円(前年同期営業損失355百万円)、経常損失63百万円(同経常損失366百万円)となりました。また、創業者功労金500百万円の特別損失計上により、四半期純損失は810百万円(同四半期純損失578百万円)となりました。

セグメント別の業績は次の通りであります。

なお、各セグメントの営業損益のほかに、各セグメントに帰属しない全社費用等271百万円があります。

#### <クリクラ事業>

直営部門では、前年度の顧客数増加に伴い、前年同期比15.6%増の売上伸長となりましたが、加盟店向け売上がやや低調に推移し、また、5月・6月の気温が想定より上がらず、全体的に顧客の消費量が計画を下回ったことが影響し、売上高は3,301百万円(前年同期比4.8%増)になりました。利益面では、引続き積極的に販売促進費を投入したこと等により、営業利益65百万円(同56.2%減)となりました。

なお、当四半期における販売促進による顧客獲得軒数は、計画通りの進捗状況にあります。

また、新たに八王子営業所・江東営業所・川越営業所・川口営業所を開設しております。

#### <レンタル事業>

前期末にM&Aした株式会社アーネスト、当四半期にM&Aしたダスキン行田支店が寄与し、売上高は2,889百万円(前年同期比8.4%増)となりましたが、のれん償却費の負担もあり営業利益は291百万円(同3.9%減)となりました。また、主力のダストコントロール商品においても、依然として事業所市場における経費削減傾向は続くものの、期首における販促キャンペーン効果で顧客軒数が計画を上回っております。

また、害虫駆除関連商品も順調に推移しました。

#### <建築コンサルティング事業>

住宅着工戸数が緩やかに回復する中、工務店の受注に前向きな動きがみられ、それに伴って主力ノウハウ商品販売が順調に伸長しました。また、ノウハウ商品の研修内容見直しとフォローアップ強化も行ったことで、システム活用が促進され会員工務店の活性化にもつながっております。

太陽光発電システムの販売においても、会員工務店のOB顧客向け提案などに後押しされ、計画通り推移しました。

以上により、売上高は899百万円(前年同期比43.4%増)となりましたが、貸倒引当金繰入額等の経費増加により営業利益は44百万円(同47.5%減)となりました。

#### <住宅事業>

前期末に1,187棟の受注残があり、売上高は6,538百万円(前年同期比60.3%増)となりました。損益面では、例年期末に引渡が偏ることから第1四半期は営業赤字の傾向にありますが、大幅増収により、営業損失は198百万円(前年同期営業損失636百万円)と改善しました。

受注状況につきましては、当四半期末における受注残が1,401棟(前年同期1,334棟)となっております。

なお、新たに高崎東展示場・太田展示場・我孫子展示場・延岡展示場・大宮センターを開設し、店舗数は、41支店19展示場となっております。

既存店においては10年が経過する店舗も出てきており、引渡棟数も累計で12,000棟超となりましたので、アフターメンテナンスの延長上でのリフォーム事業も検討してまいります。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における資産総額は、25,738百万円となり、未成工事支出金等が増加したものの、納税・配当金・買掛金等の支払による現金及び預金等の減少により前連結会計年度末に比べ79百万円減少しました。負債総額は、15,259百万円となり、主として、住宅事業における未成工事受入金の増加により前連結会計年度末に比べ931百万円増加しました。

純資産は、10,478百万円となり、四半期純損失810百万円計上及び配当金221百万円の支払等により利益剰余金が減少し、前連結会計年度末に比べ1,010百万円減少しました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間の業績は、ほぼ期初計画の範囲内で推移しており、現時点におきましては、平成24年5月11日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,904,150	3,921,455
受取手形及び売掛金	3,048,936	2,754,238
商品及び製品	1,822,371	1,749,672
未成工事支出金	1,252,081	2,626,516
原材料及び貯蔵品	61,278	72,977
その他	2,023,761	2,214,293
貸倒引当金	△158,132	△147,293
流動資産合計	13,954,448	13,191,860
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,812,358	5,135,578
土地	2,319,873	2,354,303
その他（純額）	880,063	886,840
有形固定資産合計	8,012,295	8,376,722
無形固定資産		
のれん	471,129	503,471
その他	170,436	157,296
無形固定資産合計	641,566	660,768
投資その他の資産		
差入保証金	2,267,384	2,293,586
その他	1,219,863	1,575,623
貸倒引当金	△278,037	△360,146
投資その他の資産合計	3,209,210	3,509,063
固定資産合計	11,863,071	12,546,553
資産合計	25,817,519	25,738,414

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	3,789,391	3,372,657
短期借入金	1,159,105	1,129,761
未払法人税等	1,036,117	36,202
未成工事受入金	2,909,377	5,117,534
賞与引当金	732,120	367,504
引当金	268,863	276,325
その他	2,905,180	3,012,491
流動負債合計	12,800,155	13,312,475
固定負債		
長期借入金	497,450	784,700
資産除去債務	529,600	550,500
その他	501,293	611,839
固定負債合計	1,528,344	1,947,039
負債合計	14,328,500	15,259,515
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,000,000	4,000,000
資本剰余金	867,170	876,653
利益剰余金	8,976,596	7,940,802
自己株式	△1,519,717	△1,500,251
株主資本合計	12,324,049	11,317,204
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	30,081	28,849
繰延ヘッジ損益	1,207	△837
土地再評価差額金	△866,318	△866,318
その他の包括利益累計額合計	△835,029	△838,305
純資産合計	11,489,019	10,478,898
負債純資産合計	25,817,519	25,738,414

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	10,524,006	13,627,074
売上原価	5,938,689	8,240,538
売上総利益	4,585,317	5,386,536
販売費及び一般管理費	4,941,250	5,454,626
営業損失(△)	△355,933	△68,090
営業外収益		
受取利息	3,584	3,732
受取配当金	5,067	7,577
受取地代家賃	2,443	1,491
受取手数料	3,230	1,952
その他	10,217	7,906
営業外収益合計	24,543	22,660
営業外費用		
支払利息	11,532	8,669
減価償却費	2,702	3
為替差損	18,133	4,790
その他	2,484	4,878
営業外費用合計	34,852	18,342
経常損失(△)	△366,243	△63,772
特別損失		
創業者功労金	—	500,000
特別損失合計	—	500,000
税金等調整前四半期純損失(△)	△366,243	△563,772
法人税、住民税及び事業税	45,645	20,119
法人税等調整額	166,969	226,607
法人税等合計	212,614	246,727
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△578,857	△810,500
四半期純損失(△)	△578,857	△810,500



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△578,857	△810,500
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△10,729	△1,231
繰延ヘッジ損益	99	△2,045
その他の包括利益合計	△10,629	△3,276
四半期包括利益	△589,487	△813,776
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△589,487	△813,776
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	クリクラ事業	レンタル事業	建築コンサル テイング事業	住宅事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	3,149,761	2,666,686	627,355	4,080,203	10,524,006	—	10,524,006
セグメント間の内部 売上高又は振替高	44	114	—	—	159	△159	—
計	3,149,805	2,666,800	627,355	4,080,203	10,524,165	△159	10,524,006
セグメント利益又は損失 (△)	150,530	302,907	85,724	△636,686	△97,524	△258,408	△355,933

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△258,408千円には、セグメント間取引消去・その他調整額26,367千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△284,776千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	クリクラ事業	レンタル事業	建築コンサル テイング事業	住宅事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	3,301,920	2,887,167	899,424	6,538,562	13,627,074	—	13,627,074
セグメント間の内部 売上高又は振替高	54	2,793	—	—	2,847	△2,847	—
計	3,301,974	2,889,960	899,424	6,538,562	13,629,922	△2,847	13,627,074
セグメント利益又は損失 (△)	65,897	291,127	44,978	△198,813	203,190	△271,280	△68,090

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△271,280千円には、セグメント間取引消去・その他調整額23,574千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△294,854千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。

## 4. 補足情報

受注の状況

セグメントの名称	受注高 (千円)		受注残高 (千円)	
	前第1四半期 平成23年4月1日～ 平成23年6月30日	当第1四半期 平成24年4月1日～ 平成24年6月30日	前第1四半期 平成23年6月30日現在	当第1四半期 平成24年6月30日現在
住宅事業	10,573,378	9,494,272	20,393,793	22,972,431